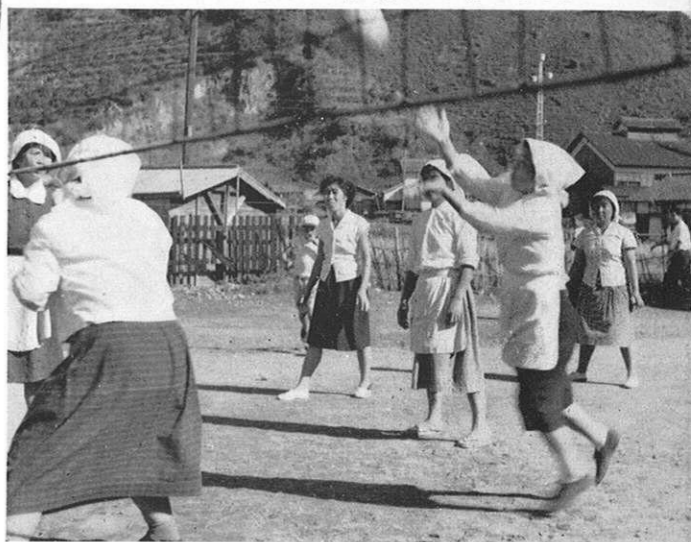




●…青年達は動力撒布機で消毒に活躍

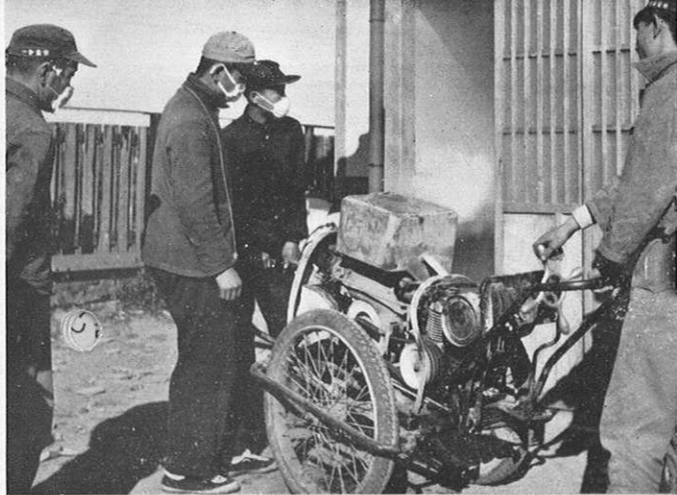


●…子供達は自発的に溝掃除に一役かつて居る

●…普段着のままバレーボールを楽しむ奥さん達
●…またある時は栄養料理の研究に一生懸命



●…努力奉仕でできた立派な溝はホーフラの発生する余地もない



●…地区民そろって朝のラジオ体操も楽しい



全国表彰の候補に

田浦町洲崎地区を推薦

楽しい家庭、明るい社会をめざす新生活運動は、いま全県下に波紋のように拡がり、既に市町村或は部落単位に約五〇地区が組織的に活動を続け、更にこのうち二〇地区は、県新生活運動協議会の指定地区として、夫々テーマをもつて熱心な運動を展開している。

ところで、例年のとおり、新生活運動優良地区の全国表彰が今年も行われるので、県新生活運動協議会では、去る十一月二十七日の総会で、これら二〇の指定地区から、県の推薦地区を選定するため慎重な審議を重ねたが、その結果、芦北郡田浦町洲崎地区が選ばれ、直ちに全国表彰候補として、全国新生活運動協会に推薦された。

環境衛生面から

生活全般の改善へ

田浦町洲崎地区のあしあと

食しあつた洲崎地区

鹿児島本線肥後田浦駅下車して東へ約二〇〇米、三方山に囲まれた静かな部落……これが洲崎地区である。

どの家も同じ型でスラリと並んだ風景は、東海電極田浦工場の社宅であつた事を物語っている。だが戦後工場が縮小されたため、従業員でこの地区に居るのは僅かに二十三戸、あとの一一一戸は工場以外の勤め人や日雇労働者ばかり。

昭和二十八・九年度までは、約七割がその日暮しの貧しさで、約一割は生活保護を受けていたという実情だから、環境は荒れ放題、草は生い茂り、下水は悪臭を放つ。蚊やハエはブン／＼群がり、結核は続発するという有様であつた。

話し合いで団結

最初のうちは、何れの地区でもみられるように、一部には気乗り薄の人々もあり、実生活の逼迫から来る消極性はやむを得ない点もあつた。又、俸給生活者や日雇労働者との世帯数がはゞ相仲ばしてゐるため、生活程度においても、考え方においても開きがあるというところは活動

推進上の一つの隘路と考えられていた。だが、世話役の人々は話し合いによつてこれらの障害を克服し、次々と実行に移してゆく衛生活動……チリ箱の設置、汲取口の密閉、防虫網の取付、下水の改修、チリ焼き場の設置等々は、地区の人々の努力によつて着々と実績を挙げつた。

挙げた最初の実績

蚊やハエは一匹もいなくなつた。悪臭を放つドブもきれいになつた。毎週一回は大人も子供も総動員で、道路や下水の清掃も続けられた。……といえは実に順調に活動が進んできたように聞えるが、月二十四の会費納入さえ大きな負担であるというこの地区の人々にとつて、このような集団活動、しかも金のかゝる仕事はなかなか難かしい事であつた。

だが、チリ焼場の建設も、下水のコンクリート工事などもすべてみんなの努力奉仕によつて完成した。周囲の部落の人々は、その団結と努力に目をみはつたといふ。

食生活の改善によつて罹病率が減り、家族計画の結果は昭和二十三年の出産三十名が、三十三年には二名という激減ぶり。

この際には、水俣保健所田浦支所や町役場の協力と援助が、如何に大きかつたかという事も忘れてはならない。

活動も巾を拡げて

昭和三十三年度は環境衛生モデル地区として知事から優秀賞を受けたが、人々は環境衛生の活動だけに満足せず、更に

明るく豊かな洲崎に

このような状況からその実績は挙り、昭和三十三年度には県新生活運動協議会のモデル地区に指定されるまでになつていた。衛生自治会発足以来四年目、積極的な生活の合理化は、食しあつたこの洲崎を、明るく豊かな洲崎につくり変えていた。五・六年前までの、貧しく荒れた雰囲気はいまはなく、地域内に一歩ふみ入れば、明るく清潔な雰囲気があつた。い、「花一ぱい運動」の成果である、どの家の庭にも美しい花が一面に咲き乱れている。

「今後モデル地区の指定が解除されても、この運動を続けてゆきます。いや、ます／＼発展させてゆきますよ。」という地区の人々は、このたび全国表彰候補として洲崎が選ばれた事に、限りない喜びと誇りを感じているであらう。

(熊本県新生活運動協議会)